

修論発表会

日時：2023年2月7日（火） 15時から18時

場所：オンライン開催

（下の二次元バーコードよりアクセスしてください）

檜原和真

「異文化間感受性がステレオタイプの抑制に与える影響:文系・理系観に着目して」

岡田莉子

「村上春樹作品におけるインドネシア語翻訳プロセス—比喻表現を中心に—」

石崎美夏

「1930年代ソヴィエトにおけるドラムバレーの隆盛とその意義について」

古川望

「ファウスタ・チャレンテの作品におけるブルジョワジーの表象：
『ヴィーゼルベルゲル家の四姉妹』と『バッラータ・レヴァンティーナ』の分析」

飯塚夕稀

「『みいら採り獵奇譚』における〈生〉の表象—自伝を導く表現機構—」

竹内航汰

「マルグリット・デュラスの記した汚辱と犯罪
—『ヴィオルヌの犯罪』と報道言説の比較を中心に—」



主催：東京外国語大学総合文化研究所